

令和3年度事業報告

1. 実地指導

1) A病院

- NICU おいて MRSA 新規検出が続いており、ICT を中心に改善策を実施し、減少傾向にあるものの新規陽性者が継続し検出されることから支援を要請されたもの。
- 実施日：令和3年11月29日(火) 9:30～15:00
- 報告書：令和3年12月23日 提出
- 支援スタッフ(6名)
 - 戸石悟司：成田赤十字病院／新生児科・第一部長※〔医師〕
 - 鈴木由美：独立行政法人国立病院機構 下志津病院 感染症内科医長※〔医師〕
 - 寺井幸子：東邦大学医療センター佐倉病院 感染対策室師長補佐・感染管理認定看護師〔看護師〕
 - 星野智子：地域医療機能推進機構 船橋中央病院／看護師長・感染管理認定看護師〔看護師〕
 - 橋本麻子：国立がん研究センター東病院 感染制御室副看護師長・感染管理認定看護師〔看護師〕
 - 柴田幸治：千葉感染制御研究所／代表※〔薬剤師〕

※：千葉ネット幹事

本件事案内容より、NICU 等における手指衛生遵守率が課題となっている点が推定されたことを考慮し人選した。

2. 相談対応（メール等による相談応需）

1) 令和3年5月11日 <メール>

- 質問者：B病院
- 内容：新型コロナウイルスのPCR検査用の検体採取する部屋の感染管理について
- 回答：5月13日

2) 令和3年5月13日 <メール>

- 質問者：B病院
- 内容：空調管理、新型コロナウイルスPCR検査装置について
- 回答：5月20日

3) 令和3年10月15日 <メール>

- 質問者：C病院
- 内容：新型コロナウイルスワクチン接種後の面会について
- 回答：10月28日

4) 令和4年2月28日 <メール>

- 質問者：D病院
- 内容：COVID-19患者の入院個室隔離の解除基準について、COVID-19患者の外科手術に関する相談システムについて
- 回答：3月3日

3. 研修会開催

1) 第1回研修会

- 日時：令和3年12月11日（土）
- 会場：千葉大病院ガーネットホール&WEB
- 内容：『感染制御に対応できる医療人材の教育について』

第1部 講演

座長：伊藤 彰一／千葉大学病院総合医療教育研修センター長・教授

1. 「新型コロナウイルス感染症による医学部への医学教育の変化-メディア実習および模擬診療実践の試み-」

笠井 大／千葉大学病院総合医療教育研修センター 特任助教

2. 「新型コロナウイルス感染症看護基礎教育の変化と課題」

岡田 忍／千葉大学看護学研究院 教授

3. 「薬学部生・薬剤師に対する実践とWEBのハイブリット教育」

山崎伸吾／千葉大学病院薬剤部 薬剤主任

4. 「変化に対する院内教育の在り方」

大野 朋加／千葉大学病院看護部キャリア開発室 看護師長

第2部 特別講演・パネルディスカッション

座長：柴田幸治／千葉感染制御研究所代表

特別講演 「学生・医療従事者に伝わるプレゼンテーションのポイント」

鹿野 由利子／千葉大学病院病院広報室

パネルディスカッション「報道陣から見たコロナ下の医療人の対応力、何を伝えたいか」

- 参加者：64人（うちWEB参加者50人）

4. 活動支援

【各部会】

1) 看護師部会

- ◇ 感染管理認定看護師を中心に感染管理実践に関する知識とスキルの向上を図り、地域における感染管理の連携を目指し活動している
- ◇ 研修会の開催
 - 令和3年度 CHI-IC-net 研修会
 - 開催日：2021年11月6日
 - 対象者：感染対策に携わっている看護職
 - テーマ：それってあっていますか？個人防護具の着方、脱ぎ方
～COVID-19対策で見えてきた標準予防策の重要性
 - 講師：セコメディック病院 感染管理認定看護師 佐藤由有子
 - 研修方法：講義・グループワーク
 - 方法：4会場同時開催、合計51名が参加
 - 地域包括支援センターたてやま：受講者6名
 - 千葉大学病院：18名
 - 成田リハビリテーション病院：8名
 - JCHO 船橋中央病院：19名

【地区活動】

1) 東葛北部地区（東葛北部感染対地域支援ネットワーク）

※ コロナ対応によりネットワークとしての地区活動は中断されているが、地区の感染管理認定看護師等においてLINE等を利用し、特にコロナ関連の感染管理に関する相談等を相互に行っている。

2) 東葛南部地区

◇ 市川・浦安地域院内感染等対策ネットワーク会議

- 市川保健所管内において、院内感染対策等に関する情報交換会「市川・浦安地域院内感染等対策ネットワーク会議」を2回開催
- 参加施設は、感染防止対策加算1の4施設と、加算2の5施設
- 参加職種は、医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師、保健所開催時は保健所職員
- 令和3年度は。コロナ流行期のため、データを収集し、回覧に留まった。

(1) 第1回会議 令和3年9月

- 新型コロナウイルス感染症変異株（デルタ株）の流行拡大、参加施設内でのクラスター発生により、会議の開催は困難となり中止された。参加施設から下記データを提出してもらい、情報共有を行った。

- 1) 延べ1000患者あたりのMRSA発生率の推移

- 2) 延べ 1000 患者あたりのアルコールゲル使用量推移
- 3) 検査部門耐性菌サーベイランス（地域、JANIS との比較）
- 4) 抗菌薬使用状況（抗菌薬使用密度：AUD の推移）

(2) 第 2 回会議 令和 4 年 3 月

- 新型コロナウイルス感染症変異株（オミクロン株）の流行継続、参加施設内でのクラスター発生により、会議の開催は今回も中止。参加施設から下記データを提出してもらい、現在集計中である。
データ内容は第 1 回と同様

3) 印旛・北総地区

◇ 印旛北総地区感染防止対策連絡会

- ICN 在籍(主に感染防止対策加算 1 算定)施設の ICD と ICN により構成される会。
- 管内の保健所職員と共に地域の感染対策支援について情報交換・検討している。

(1) 令和 3 年度 第 1 回 令和 3 年 4 月 15 日（木） 17 時～ zoom 開催

- クラスター対策の現状
 - 高齢者施設の積極的検査の現状：印旛健康福祉センター（印旛保健所）
 - 千葉県クラスター対策班活動の現状：千葉県健康福祉政策課
- 各地区におけるワクチン接種の現状・問題点など、情報交換
 - 職員接種からみえてきたこと(副反応等)：東千葉メディカルセンター 阿内 ICN
- 参加施設：7 病院、4 保健所
- ☞ 一般市民の新型コロナワクチン接種開始に向けての情報交換。前回と引き続き、地域の保健所、県の健康福祉政策課からもご参加いただき意見交換が行われた。今後も引き続き各機関病院と行政も連携して情報交換していくことを確認した。

(2) 令和 3 年度 第 2 回 令和 3 年 9 月 16 日（木） 17 時～ zoom 開催

- 中高生の新型コロナワクチン接種開始にむけて、意見交換
 - 事前準備や会場の設置の工夫：下志津病院 鈴木 ICD
 - 自治体より：四街道市
- 千葉県クラスター班活動の現状：県健康福祉政策課
- 今後の本連絡会での連絡体制について→SLACK の活用など
- 参加施設：8 病院、4 保健所
- ☞ 中高生の新型コロナワクチン接種開始に向けて情報交換。デルタ波の中でもワクチンの効果により高齢者施設クラスターは激減している現状をご報告いただいた。今後は、効率的でリアルタイムな情報共有のために SLACK を活用していく。

(3) 令和 3 年度 第 3 回 令和 4 年 3 月 17 日（木） 18 時～ zoom 開催

- クラスター関連
 - クラスター発生状況、対策班の活動：県健康福祉政策課
 - クラスター発生時ラゲブリオ一括処方手続きなど：県薬務課
 - 地域の高齢者施設クラスター支援(ラゲブリオの活用も含め)：旭中央病院 中村
- 県内の周産期リエゾンについて情報共有：成田日赤 戸石
- WHO 手指衛生戦略にもとづく指導者育成、地域合同キャンペーン提案：下志津 鈴木

- 診療報酬改定も視野に入れた今後の地域連携活動にむけて(情報交換・意見交換)
- 参加施設：10 病院、4 保健所
- ☞ 千葉県クラスター班の活動状況：第 6 波わずか 2 ヶ月で 108 施設に介入(第 2-3 波の 8 ヶ月で 109 施設)していること、大規模クラスターの現状、クラスター時のラゲブリオ処方の手続き、実際にラゲブリオ一括処方も活用した地域の高齢者施設クラスター支援の経験について当の報告。県の周産期リエゾンの現状、地域で連携して手指衛生推進など、現状共有と今後の活動にむけての提案などがあつた。次年度も引き続き活動を継承しつつ、診療報酬改定に関連する地域連携事業なども、このネットワークを活用して密に連携していく方向性となつた。

◇ 手指衛生指導者育成セミナー

印旛北総地区の手指衛生指導者育成のための研修会（2018 年,2019 年の開催以降中断していたものの再開にむけて、まずは講師の育成のための研修を実施）

(1) WHO 手指衛生多角的戦略に基づく 手指衛生指導者育成セミナー

TTT - Japan 'mini' @ 印旛香取海匝山武地区

- 日時：令和 4 年 2 月 5 日（土）13 時～ zoom 開催
- 内容：WHO 多角戦略の全貌、自己評価フレームワーク(参加者も自施設の祭典を行い、講師からコメント)、直接観察による手指衛生遵守率測定（動画を用いた観察）
- 参加施設 リアルタイム参加 4 施設＋後日録画視聴施設

WHO 手指衛生多角的戦略の全貌について理解を深め、自施設の自己評価をもとにした次年度計画の立案、WHO ガイドラインに基づいた正確な直接観察の方法について WHO の教育動画を用いて確認ができた。次年度、地域で連携して手指衛生推進活動の提案、意見交換。

◇ 地域の施設等対象の感染対策講習会の開催

(1) 新型コロナウイルス感染(第6波)における自宅療養者を支えるための連携会議

- 日時：令和 4 年 1 月 21 日（火）
- 場所：旭中央病院
- 対象：旭匝瑳医師会、銚子医師会、旭匝瑳薬剤師会、銚子薬剤師会、海匝健康福祉センター、旭市役所、匝瑳市役所、銚子市役所、管内の訪問看護ステーション、管内の介護事業所、ケアマネージャー、旭中央病院
- 内容 地域での新型コロナウイルス感染症自宅療養者を支えるための、薬剤処方および各種対策について
- 講師：旭中央病院 感染症科部長 中村朗、同 薬剤師 井上武、
毎日薬局薬剤師 小関敬人、海匝健康福祉センター所長 井元浩平
新型コロナウイルスの自宅療養者を支援するための処方、濃厚接触者の対応を含めた各種対策等について理解を深めることが出来た。

4) 千葉・市原地区

◇ 感染対策連絡会

- 地区管内の感染管理認定看護師を中心に連携を深める活動を行っている。また管内の保健所職員も参加され、連携を深めている。

- 参加メンバーによる情報共有、検討、ディスカッション会議の開催
 - 第1回 令和3年4月30日
 - 参加者 17名（11医療機関＋千葉市保健所）
 - 入院患者の受け入れ体制について
 - 検討コロナ調整本部1本化への対応について
 - 保健所との連携について
 - 各医療機関との連携について
 - 新型コロナワクチン接種への対応について
 - 職員へのワクチン接種について
 - 他施設へのワクチンの供給について
 - 高齢者等一般患者へのワクチン接種に伴う課題について
 - 第2回 令和3年8月12日
 - 参加者：14名（10医療機関＋千葉市保健所）
 - フェーズ4への保健所・各医療機関の対応について
 - コロナ患者の受け入れについて
 - 外来でのコロナ対応について
 - 発熱外来対応について
 - その他

◇ 研修会の開催

- 令和3年9月1日～9月20日オンデマンド配信
- 対象：医療機関、介護、福祉施設等従事者
- 方法：医療情報サイトより視聴
- 内容：標準予防策
- 講師：
 - ①手指衛生：君津中央病院 堀井俊男
 - ②環境整備：千葉メディカルセンター 遠藤朋子
 - ③患者配置：JCHO千葉病院 斉藤博子
 - ④器具器材の取り扱い：山王病院 秋本紋野
- 閲覧（再生）状況
 - ①：300回、②272回、③285回、④301回

5. ネットワーク参加状況

令和4年3月10日現在

機関参加…183機関（内172病院：59%）

個人参加…56名

6. 協議会代表幹事名簿

令和4年3月3日現在

氏名	職種	所属	備考（担当地区）
猪狩 英俊	医師	千葉大学医学部附属病院	議長(千葉)・充職
松本 哲哉	医師	国際医療福祉大学成田病院	充職
戸石 悟司	医師	成田赤十字病院	充職
塚田 弘樹	医師	東京慈恵会医科大学附属柏病院	(東葛北部)
石川 哲	医師	JCHO 船橋中央病院	(東葛南部)
鈴木 由美	医師	独立行政法人国立病院機構 下志津病院	(印旛)
笠原 靖紀	医師	東千葉メディカルセンター	(北総)
漆原 崇司	医師	国保直営総合病院 君津中央病院	(南総)
杉戸 一寿	医師	千葉県習志野健康福祉センター	保健所長会
櫻井 真人	歯科医師	さくらい歯科医院	歯科医師会
松木 祥彦	薬剤師	医療法人社団協友会柏厚生総合病院	病院薬剤師会
跡治江理奈	看護師	医療法人社団協友会柏厚生総合病院	ICN ネットワーク CHIBA
千葉 均	看護師	千葉大学医学部附属病院	ICN ネットワーク CHIBA・充職
根本 恵子	看護師	東京ベイ・浦安市川医療センター	ICN ネットワーク CHIBA
里村 秀行	臨床検査技師	千葉県救急医療センター	臨床検査技師会
柴田 幸治	薬剤師	千葉感染制御研究所	(事務局)

7. その他

1) ホームページの開設

「千葉大学病院 感染制御部・感染症内科」のホームページ内に開設
<https://www.ho.chiba-u.ac.jp/dept/kansen/about/network/>

※なお、すべて敬称略としています。

令和3年3月31日

千葉県院内感染対策地域支援ネットワーク（千葉ネット）

協議会議長 猪狩英俊（千葉大学医学部附属病院感染制御部部长）